

IPv6 を使った地震感知システム

地震感知の問題点

日本だけでなく数多くの地震が世界では起きています。しかも地震が起きた際には建物の倒壊にとどまらず様々な災害が起こります。その被害を最小限に抑えるのが IPv6 を使った地震感知システムです。

例えば地震被害拡大の主な災害をあげて見ると…

- ・ 火災による被害
- ・ 建物の倒壊による被害
- ・ 津波などによる水害

そしてこの主な災害の被害の拡大要因が「地震感知の遅さ」だと私は考えます。よってより早い地震感知をすれば被害の縮小に繋がると考えました。

地震感知システムの概要

家庭（会社など）に一代 IPv6 の地震感知機を設置する。



地震発生



他の家庭へ IPv6 を使い自動的に警告を発信する



離れた地域の地震感知機が警告をキャッチ



例：調理で火を使用している



自動的にコンロの火を消火



火災の被害拡大を未然に防ぐ事が可能

IPv6 地震感知装置の活用例 (図)

